

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

(1) 全校ボランティア活動

1, 3年生は縦割り班で7つのグループに分かれ、学校周辺の公園や道路のゴミ拾い、草取りなどを行った。2年生は淀川の清掃を行った。

1, 3年生は3年生のリーダーシップのもと、活動を行った。

2年生は、市の担当者や地域の方々とも連携し、10年以上続けている川清掃を行った。地域の方々と触れ合う機会を持てた。思いも寄らないゴミの種類と量を見て、地域の環境をいかに守っていくかを考えさせられた。

(2) 日本ユネスコ協会「ボランティア活動認定書」(県内初)を取得

本校の福祉部は、定期的に老人福祉施設を訪問し、利用者の方とお話をしたり、ゲームをしたりしてボランティアを継続している。またその他にも、施設の夏祭りの手伝い、地区の文化祭への参加、校内での給食のエプロンの洗濯、アイロンがけなどのボランティアを行った。日々のボランティアの活動が、規定の数を満たしたため、日本ユネスコ協会「ボランティア活動認定書」を取得することができた。

(3) ユニクロの「届けよう服のチカラ」プロジェクトに参加

JRC委員会の呼びかけで、着なくなった服を集め、発展途上国に服を送るプロジェクトに参加した。

(4) 地域をテーマにした作品制作学習

①かっちゃん弁当、福井駅で販売！！(1年)

勝山の特色をアピールする弁当を、福井駅で販売するならという設定で加工粘土等で制作した。勝山の特産品や、名物、名所などを考えながら、楽しく勝山について考えることができた。生徒の作品にはメロンや水菜、おやきなどの食品に着目したものや、恐竜や桜など、名所や有名なことに着目したものなどがあつた。

②地域や環境、平和をテーマにしたエコバッグを作ろう(2年)

地域や環境、平和をテーマにしたデザインを考え、バッグにシルクスクリーンで刷り、制作した。

③勝山に将来作りたい公共施設をデザインしよう(3年)

スチレンボードを使い、将来勝山に作りたい公共施設をデザインして模型を制作した。「みんながホッと出来るカフェ」や「水族館のあるレストラン」など、勝山に何があつたらいいか楽しく考えて制作できた。

(5) 地域の音楽を探究する学習

<雅楽を楽しもう>

毎回講師の方を招いて、平泉寺地区の伝統芸能である雅楽を教わっている。箏、龍笛、笙に分かれて練習をし、学習のまとめとして年度末に発表会を開いた。発表会には、校内の多くの生徒が自主的に聴きに来ており、学習した生徒だけでなく、全校生徒が雅楽に興味を持っている。

(6) 地元の企業や施設などの職業体験学習

10月に3日間、地元の企業や施設などで職業体験学習を行った。学んだことをパワーポイントでまとめ、11月に保護者やお世話になった職場の方を招いて発表会を行った。

(7) 地域と自分を見つめる学習

〈勝山の自然に触れ、勝山の良さを味わおう〉(1年)



宿泊体験学習を行う奥越高原青少年自然の家まで徒歩で行った。平泉寺の「まほろば」に行き、平泉寺の歴史に触れたり、大矢谷の大岩を観察したり、ジオパーク活動をしている本校施設員の話の聞いたりした。また、歩きながら、河岸段丘になっている勝山の自然の美しさを確認した。

生徒は始めは歩いて行くことに、とまどいと不安があったようだ。しかし、普段車で移動することが多く、ゆっくりと景色を見ることがないので、歩くことで勝山の景色の美しさを改めて感じることでよかったとい感想が多く寄せられた。また、大岩を初めて見た生徒が多く、その大きさに驚き感動していた。道中は坂道が多く、上るのは大変であったが、上り終えた達成感が得られたとともに、その後につけて食べたアイスクリームの味が最高においしく感じられたようだった。

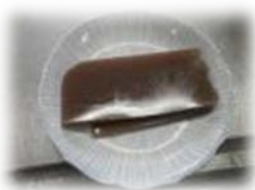
(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()

平成27年度 ESD 実践報告

学校名	ESD 担当者
勝山市立勝山南部中学校	宮本 知枝子 永井 一則
学校の教育目標	学校の教育目標と ESD の関わり
自己を磨き、 生き生きと活動する生徒の育成 【めざす生徒像】 ・確かな学力を身につけた生徒 ・人間性豊かな生徒 ・主体的で活力に満ちた生徒	学校教育目標を達成するために、生徒に「地域への愛着と誇り」をもたせたい。そこで、身近な生活や地域を活用するテーマを設け、教科横断的な学習を展開する。テーマとして、「ふるさと勝山」「伝統文化」などをとりあげた。
実践報告	
学年ごとに「ふるさと勝山」「伝統文化」を意識しながら、教科横断的に実践を行った。生徒達はあらゆる角度から、地域について考えていくことができた。	
○1 学年の取り組み	
美術 「かっちゃん弁当，福井駅で販売！！」（粘土・その他） → 勝山の特色をアピールする弁当を，福井駅で販売するなら という設定で加工粘土等で制作した。	
理科 大地の変化を読みとる 日本ジオパークに登録されている「恐竜溪谷ふくい勝山」を意識して授業を行った。	
総合 「勝山の自然」に触れよう 宿泊体験学習を行う奥越高原青少年自然の家まで徒歩で行った。まず，平泉寺の「まほろば」に行き，平泉寺地区の歴史に触れた。そして大矢谷の大岩を観察したり，ジオパーク活動をしている本校施設員に話を聞いたりした。また，歩きながら，河岸段丘になっている勝山の自然の美しさを確認した。	
美術での取り組みを通して，勝山の特産品や，名物，名所などを考えながら，楽しく勝山について考えることができた。生徒の作品にはメロンや水菜，おやきなどの食品に着目したものや，恐竜や桜など，名所や有名なことに着目したものなどがあつた。	
宿泊体験学習では，始めは歩いていくことに，とまどいと不安があつたようだ。しかし，普段，車で移動することが多く，ゆっくりと景色を見ることがないので，歩くことで勝山の景色の美しさを改めて感じることでよかつたという感想が多く寄せられた。また，大岩を初めて見た生徒も多く，その大きさに驚き感動していた。道中は坂道が多く，上るのは大変であつたが，上り終えた達成感が得られたとともに，その後につけて食べたアイスクリームの味が最高においしく感じられたようだ。	
○2 学年の取り組み	
総合 家庭科に関する内容に興味・関心をもつた生徒による探求学習 地場産の食材を使った調理（豆腐入りホットケーキ，羽二重もちを使った苺大福，	

水菜入り出し巻き卵、水菜のおひたしなど）や、郷土料理（里芋の煮っころがし、水ようかん、ぼっかけ、あべかわ餅など）を調理した。



総合 地域の音楽を探究する学習「雅楽に親しもう」

毎回講師の方を招いて、平泉寺地区の伝統芸能である雅楽を教わっている。箏、龍笛、笙に分かれて練習をし、学習のまとめとして年度末に発表会を開いた。



総合 地元の企業や施設などでの職業体験学習

10月に3日間、地元の企業や施設などで職業体験学習を行った。学んだことをパワーポイントでまとめ、11月に保護者やお世話になった職場の方を招き、発表会を行った。



総合 「勝山に観光客を集めて、勝山を盛り上げる工夫を考えよう」

金沢遠足を受けて、勝山に観光客を集めて勝山を盛り上げる工夫を考えた。班ごとにプレゼンテーションし、発表会を行った。

美術 「地域や環境、平和をテーマにしたエコバックを作ろう」

地域や環境、平和をテーマにしたデザインを考え、バックにシルクスクリーンで刷り、作成した。

社会 「地形図の読み取り」

勝山の地図を使って、地形図の読み取りを行った。

英語 「わたしの町」

勝山について、紹介するポスターを作った。

理科 クリップモーターの製作と発電の仕組みについて、日本原電（株）の出前授業を行った。

総合的な学習では、地場産の食材を使った調理を多く行った。「勝山水菜」や「ぼっかけ」「油揚げの焼いた物」など、勝山市民なら食べたことがあるであろうと思っていたものを、食べたことのない生徒が多かった。調理をする前は、あまり乗り気ではなかったが、実際に調理して試食をしてみると、とてもおいしかったようで興味ももてたようだった。

英語で勝山について紹介するポスターを作るにあたって、普段は英語で文章を書くのが苦手であるが、楽しく学習することができてよかったという声が多く聞かれた。お互いに仕上がったポスターを見ると、改めて勝山の良さがたくさんあることに気づかされた。

音楽で雅楽を学んだことは、部活動などで、なかなか時間のとれない生徒にとって、大変貴重な経験を得たようだった。

○3学年の取り組み

総合 邦楽の授業

地域の講師を招いて、箏と尺八を教わった。
学校祭などでコンサートを開き、学習のまとめを行った。



美術「勝山に将来つくりたい公共施設をデザインしよう」

スチレンボードを使い、将来勝山につくりたい公共施設をデザインして模型を制作した。



理科 エネルギー変換効率，3R，持続可能な社会について学習する。放射線について日本原電（株）の出前授業を行った。発電のベストミックス（5年後・50年後）を提案した。

邦楽の学習では、日本の文化に触れることができ、日本文化に興味を持つことができてよかったという声が聞かれた。

美術では、「みんながホッとできるカフェ」や「水族館のあるレストラン」など、勝山に何があったらよいか楽しく考えられた。勝山には海がないので、海を感じさせる水族館があると嬉しいなど、よく考えられた作品が多かった。

日本原電の出前授業では、放射線について「こわいもの」というイメージが強かったようだが、医療現場で役に立っている話を聞いたり、実際に身近なものからも微量の放射線が出ていることなどを知ったりして、意識が変わったようだ。また、エネルギー変換についての学習を受け、持続可能なエネルギーについての知識を得ることができた。

○その他の取り組み

<全校> ユニクロの「届けよう服のチカラ」プロジェクトに参加

JRC委員会の呼びかけで、着なくなった服を集め、発展途上国に服を送るプロジェクトに参加した。

全校ボランティア活動

1・3年生は縦割りで7つのグループに分かれ、学校周辺の公園や道路のゴミ拾い、草取りなどを行った。

2年生は、淀川の清掃を行った。



<部活動> 福祉部 日本ユネスコ協会「ボランティア活動認定証」（県内初）を取得

定期的に老人福祉施設を訪問し、利用者の方とお話をしたり、ゲームをしたりした。また、夏祭りなどのイベントがあった時に手伝いに行くこともあった。その他に地区の文化祭に参加したり、校内で給食のエプロンの洗濯やアイロンがけをしたりした。